

令和4年産

# 大崎麦作情報 第5号

令和4年6月6日発行  
宮城県大崎農業改良普及センター  
TEL:0229-91-0726 FAX:0229-23-0910  
<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

## ～今後の管理のポイント～

- 適期の収穫に努めましょう。
- 適切な乾燥・調製を行いましょう。

## 1 気象経過

- ・気温は平年より高い期間が長くなりました。特に4月第3半旬は最高気温が平年を5.4℃上回る20.3℃となり、高温の日が続きました。
- ・日照時間の合計は4月、5月ともに平年より長くなり、多照傾向で推移しました。
- ・降水量は4月第6半旬、5月第6半旬にまとまった降雨がありましたが、他の期間は少雨となりました。

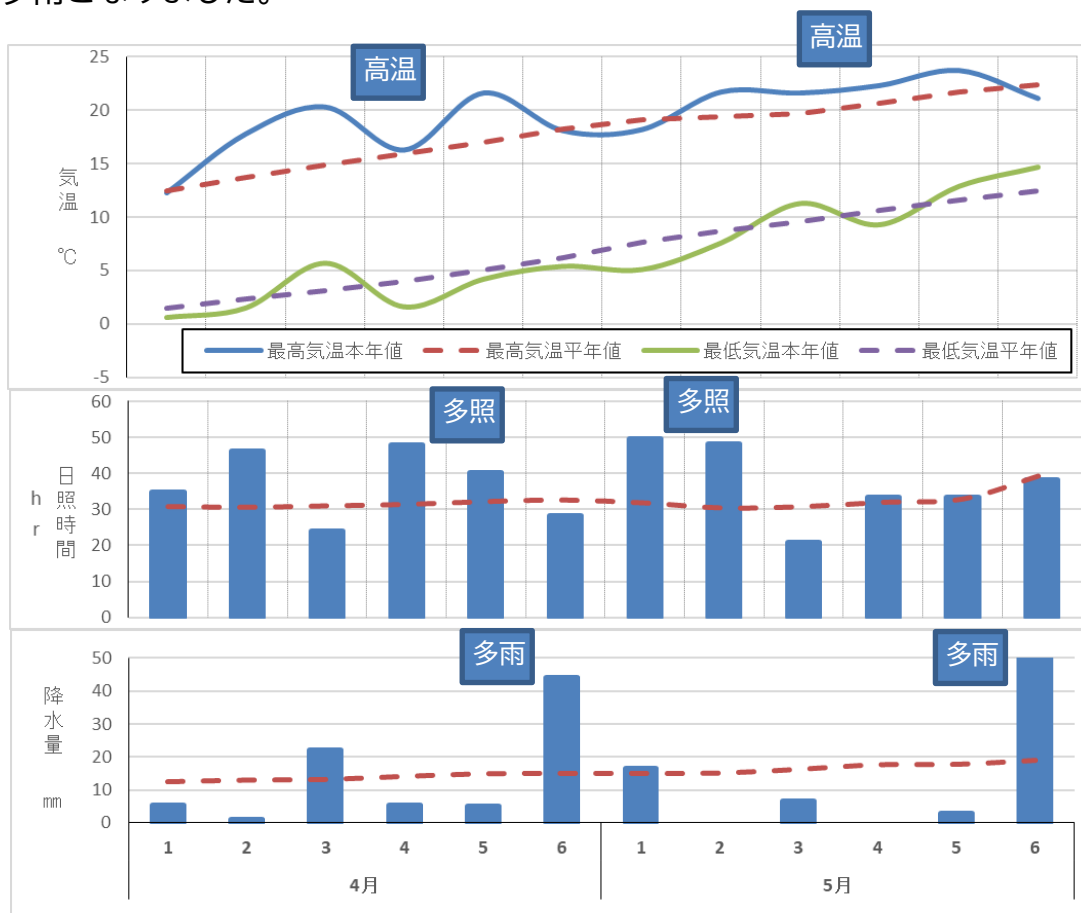


図1 気象経過 (アメダス古川)

※実線又は棒グラフが本年値，点線は平年値

## 2 今後の生育ステージの見通し

- ・出穂期は平年より1日遅い5月11日となりました。成熟期は6月25～30日頃と予測されます。
- ・**収穫作業の目安は成熟期後3日頃にあたる6月28日～7月3日頃と予測されます。**

表1 生育ステージ（実測と予測）

地区名 品種名	播種日			出穂期			成熟期（予測）		
	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年	平年
古川 シラネコムギ	10/30	+14	+7	5/11	+3	+1	6/25 ～6/30	6/22	6/24

※1 播種日と出穂期は確定日。

※2 成熟期は、出穂後45～50日後として予測。



写真1 出穂期のほ場

## 3 今後の管理

### (1) 収穫作業

#### ○収穫時期

- ・成熟期は「茎葉及び穂首部が黄化し、粒がほぼロウぐらいの硬さとなった時期」となります（表2）。穀粒水分は、概ね32～45%と幅があります。
- ・**収穫作業は子実水分30%以下（成熟期後3日頃）を目安に行いましょう。**
- ・生育のバラツキが大きいほ場では、生育の正常な株に焦点を合わせて判断しましょう。

表2 成熟期の判定

外観の色	茎葉及び穂が黄色くなった頃
子実の色	褐色
子実の硬さ	指で押さえて乳汁が出ないロウ状の硬さ

～ 計画的な作業で刈遅れ防止をしましょう ～

麦類の刈取りはどうしても梅雨時期に重なってしまいます。  
少ない晴れ間を利用し効率的に作業が行えるよう、刈取りの計画と準備  
を入念に行いましょう！

### ○降雨後の刈取り

- ・麦の収穫は梅雨時期と重なるため、やむを得ず高水分状態で収穫しなければならない場合があります。穀粒水分が高いほど選別不良や損傷粒が増加するので、こき胴の回転数は低め（稲用）に設定しましょう。
- ・切り替えができない機種では、スロットルでエンジンの回転数を下げ、作業速度の低下や刈取条数を減らすなど、こき胴への穀粒流量を少なくさせましょう。

### ○刈分けによる品質低下の防止

- ・ほ場内で部分的に穂数が不足しているなど生育ムラが大きい場合は、未熟粒の混入を防ぐため、登熟状況に応じて刈分けを行いましょう。
- ・赤かび病の被害が見られるほ場については、健全な子実への赤かび粒の混入を防ぐため、被害株の刈分けや仕分け乾燥・調製を行いましょう。

## (2)乾燥・調製作業

### ○乾化作業

- ・収穫後、袋等に詰めそのまま放置すると、水分が高いほど短時間のうちに穀温が上昇し、熱損粒発生の原因となります。刈取り後は速やかに乾燥機に張り込み、通風させましょう。
- ・循環型乾燥機を使用する場合は、表3を目安に送風乾燥を行いましょう。

表3 送風温度と仕上げ水分の目安（小麦）

水分		送風温度	
農産物の 検査基準	仕上げ の水分	標準	高水分麦（張込量は60～70%）
12.5%	11%	45～ 50℃	穀粒水分30%以下になるまで40～45℃。 30%以下になったら標準の乾燥温度。

### ○調製作業

- ・乾燥が終了したら風選、篩選等で選別します。**網目は2.4mm以上を使用し**、高品質生産に努めましょう。

## 東北地方 1 か月予報

(6月4日から7月3日までの天候見通し)

令和4年6月2日  
仙台管区气象台 発表※抜粋

### <特に注意を要する事項>

期間のはじめは、気温がかなり低くなる見込みです。

### <予想される向こう1か月の天候>

期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

### <向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気温】	東北地方	40	40	20
【降水量】	東北地方	30	40	30
【日照時間】	東北地方	30	40	30

### <気温経過の各階級の確率(%)>

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	80	10	10
2 週 目	東北地方	30	50	20
3～4 週目	東北地方	20	40	40

## ◆◆◆◆◆春の農作業安全確認運動実施中(4月1日～6月30日)◆◆◆◆◆

農業の死亡事故の割合は高く、宮城県内においても農作業事故は多く発生しています。過去10年間の宮城県の農作業死亡事故の発生状況をみると、60歳以上が全体の90%を占めており、死亡事故の過半数はトラクターが原因となっています。シートベルトの着用を徹底し、死亡事故につながるような重大農作業事故を起こさないよう十分注意しましょう。

スローガン 「しめよう！シートベルト」

## ◆◆◆◆◆農薬危害防止運動(6月1日～8月31日)◆◆◆◆◆

宮城県では、令和4年6月1日～8月31日を農薬危害防止運動実施期間と定め、農薬の安全・適生使用を推進しています。農薬による事故を未然に防ぎ、消費者の皆さんに安全・安心な農作物を届けるため、農薬は適正に使用しましょう。